

# DENON

## DHT-T100 TV Speaker Base

# 取扱説明書

### 目次

安全上のご注意.....	2
はじめに.....	4
仕様.....	4
使用上のご注意.....	5
各部の名前.....	6
テレビとの接続.....	7
テレビのスピーカーはオフにしてください.....	8
DHT-T100のリモコンボタンのはたらき.....	9
DHT-T100の自動電源動作機能.....	9
DHT-T100の操作ボタンのLED表示について.....	10
リスニングモードについて.....	10
バイリンガルモード.....	11
ナイトモード.....	11
音量の表示.....	11
Bluetooth機能を使う.....	11
他のリモコンでDHT-T100を操作する.....	12
故障かな?と思ったら.....	12
保証と修理について.....	14
登録商標について.....	14

お買い上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、「保証書」・「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくこととなりますので、ご了承願います。詳しくは、保証書の裏面をご覧ください。

# 安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 絵表示の例

図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



感電注意

△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。



電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。



## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものが入ったとき

電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。

お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。



### ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

必ず実施



### 電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施



### 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

必ず実施



### 火や炎を近づけない

本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。

火気禁止



### 内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止



### 水滴や水しぶぎのかかるところに置かない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止



### ねじを外したり、分解や改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止



### 雷が鳴り出したら

機器や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止



### 使用中、使用直後に高温となる部分には触らない

使用中、使用直後は上面や高温注意マークの面には触れないでください。

機器の放熱のために高温となっており、触れた場合にやけどをする恐れがあります。

接触禁止



高温注意



### 乾電池は充電しない

電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

禁止



### 風呂・シャワー室では使用しない

火災、感電の原因になります。

水場での使用禁止



### この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止



### 必ず AC 100V のコンセントに電源プラグを差し込んで使用する

本機は国内仕様です。AC 100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

火災・感電の原因となります。

禁止



## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



### 電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。

必ず実施

根元まで差し込んでみてもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。



### 電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止



### 電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

禁止



### 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止



### すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるように設置する

電源のスイッチを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。

万一の事故防止のため、本機をコンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。

電源プラグをコンセントから抜く



### 付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

注意



禁止



### 電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

必ず実施



禁止

### 長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



必ず実施

### 電池を使用するときは

- 極性表示に注意し、表示のとおりに正しく入れる。
- 指定以外の電池は使用しない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 電池は充電しない。
- 電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしない。
- 電池は火のそばや直射日光のあたるところ、暖房器具などの高温の場所に置かない。
- 不要になった電池を廃棄するときはお住まいの地域の条例に従って処理する。
- 長時間使用しないときは、電池を取り出して保管する。

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

万一、電池の液漏れがおこったときは、電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。



必ず実施

### 機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。

また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



禁止

### 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

### 次のような場所には置かない

- 火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になるところ



必ず実施

### 壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

### ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



禁止

### この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

### 重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁止

### 移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

### 長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。



注意

### 5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

### 電波に関するご注意

- ◎本機は電波法に基づく工事設計認証を取得した小電力データ通信システムの無線局設備を内蔵しています。
  - 本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
  - 本機は日本国内でのみ使用できます。
- ※次のことをおこなうと法律で罰せられることがあります。
  - 内蔵する小電力データ通信システムの無線局設備を分解/改造すること
  - 内蔵する小電力データ通信システムの無線局設備に貼ってある証明ラベルをはがすこと

この機器の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、およびアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：株式会社 ディーアンドエムホールディングス  
お客様相談センター 0570(666)112  
<http://denon.jp/jp/support/pages/servicecenter.aspx>

### ◎ 現品表示について

**2.4FH1**

- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。
- FH : 変調方式を表します。
- 1 : 移動体識別装置の構内無線局に対して想定される干渉距離を表します(約 10 m)。
- ■ ■ : 2.4GHz 帯の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

- ◎本機では、2.4GHz の周波数帯の電波を使用している関係で、下記機器と干渉し、音が途切れたり、雑音が発生したりする可能性があります。

### [2.4GHz の周波数帯を使用している主な機器]

- 電子レンジ
- 無線 LAN を使用した機器(ノートパソコン、無線ルーター、無線 LAN 対応 AV 機器等)
- コードレスホン
- Bluetooth 対応機器
- ワイヤレス対応 AV 機器
- ワイヤレスコントローラー

※音が途切れたり雑音が発生したりする場合には、下記の方法で改善する可能性があります。

1. 干渉している機器との距離を離す。
  2. 干渉している機器の電源を切る。
- ◎ ベースメーカー等の医療用電気機器をご使用の場合には、各医療用電気機器メーカーまたは販売店に電波による影響をご確認の上ご使用ください。
  - ◎ 人ごみの中で使用したり、本機の間に鉄筋コンクリートの壁や家具などの障害物があると、通信状態が悪くなり音が途切れたり、雑音が発生したりすることがあります。音が途切れたり、雑音が発生したりする場合には、見通しの良い場所に設置し直してください。
  - ◎ 設置の距離や障害物がない場合でも、電波の反射等により受信がうまくいかない場合があります。その場合には本機の向きや位置を変えると改善することがあります。
  - ◎ ラジオやテレビ、BS/CS チューナーなどの電波を使用した機器のそばで使用すると、ノイズが発生することがあります。その場合には機器から遠ざけて設置してください。
  - ◎ 本機は盗聴防止機能を搭載しておりますが、第三者が故意または偶然に受信する可能性があります。
  - ◎ 本機はご家庭内での音楽、映画等の再生を目的としたホームエンターテインメントシステムです。他の環境、目的での使用はおやめください。

## はじめに

当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。薄型テレビはデジタル映像技術の結晶ですが、テレビの薄型化により十分な音質を確保することが難しくなっています。そこで開発されたのが DHT-T100 です。幅広い音域で高い再現性を発揮し、ふだんのテレビ番組もドルビーデジタルの映画も、立体感のある生き生きとした音声で楽しめます。入力は各種のテレビや再生システムに広く対応しているうえ、Bluetooth 機能搭載でモバイル機器のストリーム再生も可能です。さらにリモコンは、DHT-T100 の学習機能により、使い慣れたテレビやセットトップボックスのリモコンでも操作ができます。

毎日お使いになるテレビだからこそ、シンプルな機能とシンプルな操作でご家族のみなさまに良い音を楽しんでもらいたい、その設計思想で開発されたのが DHT-T100 です。

これまでとの音の違いを実感していただく前に、まずは本書を良くお読みください。お読みになれば DHT-T100 の良さをより良くご理解いただけます。

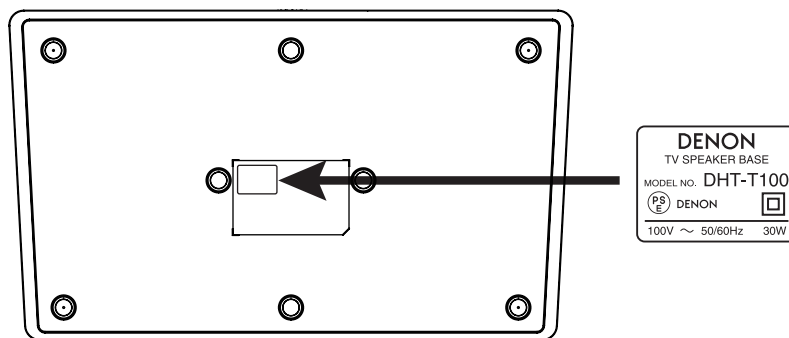
外箱と梱包材はなるべくそのまま保管してください。DHT-T100 を移動させる際に非常に役立ちます。

## 仕様

周波数帯域：	40Hz～20kHz
高音域ドライバ：	14mm (1/2 インチ) ツイーター ×2 個
低音域ドライバ：	51 × 127mm (2 × 5 インチ) ウーハー ×2 個
定格電圧：	100V 50/60Hz
消費電力：	30W
待機消費電力：	0.5W
定格出力：	9W + 9W (1kHz, 0.7%, 4Ω, JEITA)
寸法 (高さ×幅×奥行き)：	71 × 608 × 355mm
質量：	4.3kg

- \* 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。
- \* 本機は国内仕様です。必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。  
AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。
- \* 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

定格表示は、本体の底面に表示しています。



### ステレオ音のエチケット



- 隣近所への配慮 (おもいやり) を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。



## 使用上のご注意

### ■ 設置についてのご注意

DHT-T100 は、画面が最大 50 インチ(脚部は 546×308mm 以内)で、重さが 27kg までの薄型テレビの下に置けるように設計されています。テレビの脚が、DHT-T100 の上面からはみ出さないようにしてください。DHT-T100 の天面の「+」マークにテレビの中心がくるようにテレビをのせてください。

DHT-T100 は、テレビの上方か下側の棚や台などに置くこともできますが、その場合は、テレビの画面に対して中央揃えにし、画面からなるべく離さないよう近くに置くのが理想的です。DHT-T100 は壁掛け設置の仕様にはなっていません。DHT-T100 を棚などに置く場合は、本体の前面を、棚の手前の面と垂直に揃えて置いたときに、おおむね最適な音声が得られるようになっています(音の余計な反響が避けられるため)。



#### ご注意：

- 本機内部の放熱をよくするために、壁や他の機器との間は、10cm 以上離して設置してください。
- 本製品にテレビをのせたとき脚部がはみ出していると、テレビが転倒し、けがの原因となります。
- テレビに転倒防止用具が備わっている場合は、所定の説明にしたがって取り付け、本製品の上にテレビをのせた状態で、止め具合を正しく調節してください。本製品にテレビをのせてお使いになる場合、転倒防止用具は是非お使いください。テレビに備わっていない場合は、市販のテレビ用転倒防止用具をお買い求めのうえお使いください。
- テレビの脚部が大きすぎる場合は、テレビの下側のオープンラックなどに置いてください。その場合、ケーブルが届くようになるべく近づけて置きます。テレビを本製品の上方に壁掛け設置するのも 1 つの方法です。
- 不安定な場所には絶対に置かないでください。テレビが落下すると重大なけがや死亡事故が起こる恐れがあります。ちょっとした配慮で特にお子様のけがを防げます。
- ブラウン管テレビには対応する仕様になっていませんので、絶対に使用しないでください。

### ■ 携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

### ■ 結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1～2 時間放置してから使用してください。

### ■ お手入れについて

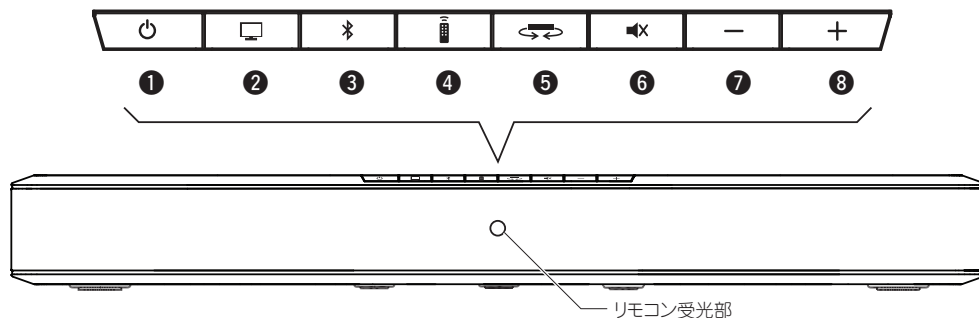
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ペンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

### ■ 移動させるときのご注意

電源プラグをコンセントから抜いてください。  
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

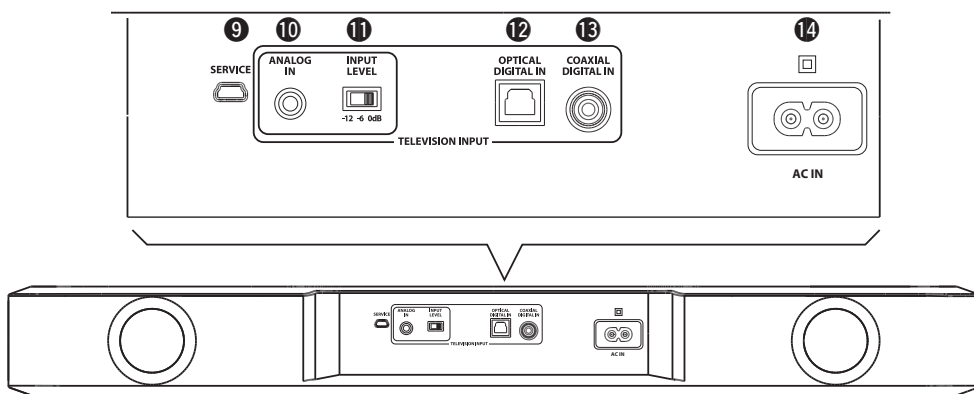
# 各部の名前

## ■ 本体操作部



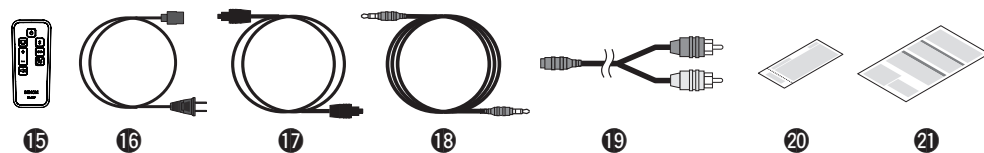
- ① 電源ボタン
- ② テレビボタン：テレビから入力された音声を聴くときに押します。
- ③ Bluetooth ボタン：Bluetooth 機器と接続して音楽を聴くときに押します。
- ④ リモコン学習ボタン：リモコンを学習設定するときに押します。
- ⑤ リスニングモードボタン：5 種類のリスニングモードを順に切り替えます。
- ⑥ 消音ボタン：音声を一時的に消すときに押します。もう一度押すと復帰します。(音量ボタンでも復帰できます。)
- ⑦ 音量ダウンボタン：音量が下がります。長押しすると連続で音量が下がります。
- ⑧ 音量アップボタン：音量が上がります。長押しすると連続で音量が上がります。

## ■ 背面



- ⑨ サービス用コネクタ (SERVICE)：保守サービス用ですので、何も接続しないでください。
- ⑩ アナログ音声入力端子(3.5mm ステレオミニプラグ)(ANALOG IN)：テレビにデジタル音声出力端子がないときに、テレビのアナログ音声出力端子またはヘッドホン出力端子と接続します。
- ⑪ 入力レベル切り替えスイッチ (INPUT LEVEL)：アナログ音声入力の入力レベルを切り替えます。
- ⑫ 光デジタル音声入力端子(S/PDIF)(OPTICAL DIGITAL IN)：テレビの光デジタル音声出力端子と接続します。
- ⑬ 同軸デジタル音声入力端子(ピンプラグ)(COAXIAL DIGITAL IN)：テレビの同軸デジタル音声出力端子と接続します。
- ⑭ 電源入力端子：付属の電源コードをここに接続します。

## ■ 付属品

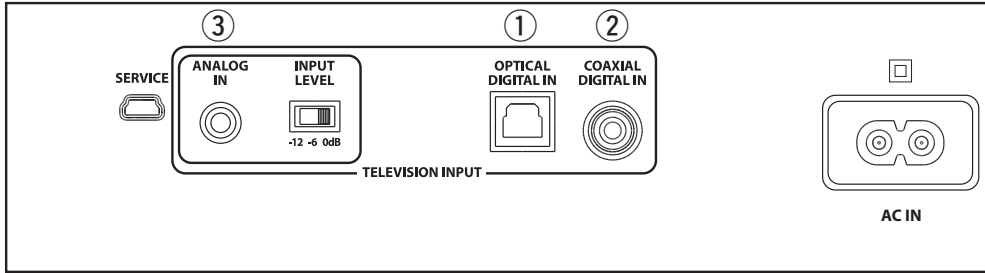


- ⑮ リモコン(RC-1187)：DHT-T100 の専用リモコンです。電池が付属しています。
- ⑯ 電源コード：DHT-T100 の専用電源コードです。
- ⑰ 光デジタルケーブル：光デジタル音声入力端子への接続に使用します。
- ⑱ 3.5mm ステレオミニプラグケーブル：アナログ音声入力端子への接続に使用します。
- ⑲ ピンプラグ / ミニプラグ変換アダプタ：テレビのピンプラグのステレオ音声出力をステレオミニプラグ出力に変換するアダプタケーブルです。
- ⑳ 保証書
- ㉑ 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内

## テレビとの接続

DHT-T100 には、テレビから音声を入力する方法が 3 つあります。

いずれか 1 つを選んで接続してください。



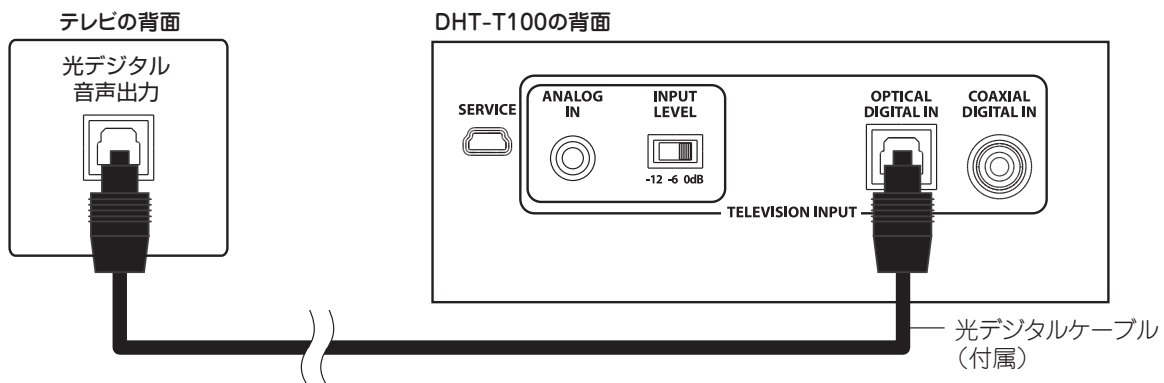
- ① 優先度：高 光デジタル音声入力：テレビの光デジタル音声出力端子と接続します。
- ② 優先度：中 同軸デジタル音声入力：テレビの同軸デジタル音声出力端子と接続します。
- ③ 優先度：低 アナログ音声入力：テレビにデジタル音声出力端子がないときに、テレビのアナログ音声出力端子またはヘッドホン出力端子と接続します。

DHT-T100 にテレビの音声入力端子を複数接続しているときは、DHT-T100 で再生する信号を自動的に選択します。この場合、光デジタル音声入力、同軸デジタル音声入力、アナログ音声入力の順に優先して再生します。

### ① 光デジタル音声入力（優先度：高）

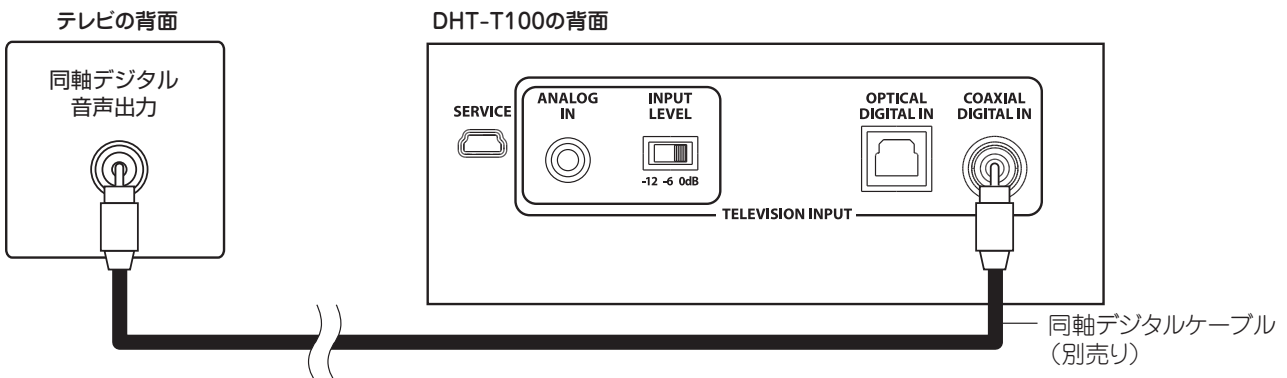
付属の光デジタルケーブルを使って、テレビの光デジタル音声出力端子と DHT-T100 の光デジタル音声入力端子を接続してください。テレビに DVD/ ブルーレイディスクプレーヤーやセットトップボックスなどの機器をつないでお使いの場合は、それらの再生音声も DHT-T100 で楽しめます。

光コネクタの形状は一見すると正方形ですが、1 方向にしか差せない形状になっていますので、無理に押し込まないでください。



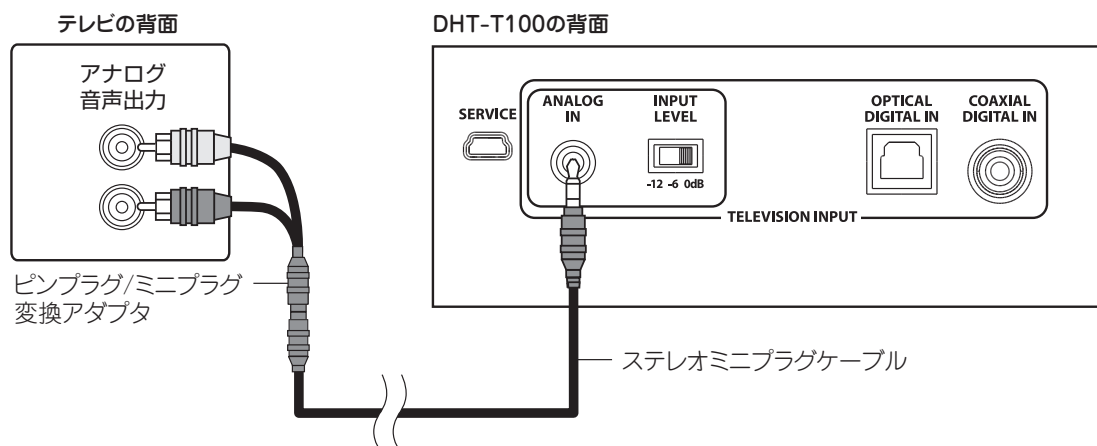
### ② 同軸デジタル音声入力（優先度：中）

お使いのテレビに光デジタル音声出力端子がない場合は、同軸デジタルケーブル(別売り)を使って、テレビの同軸デジタル音声出力端子と DHT-T100 の同軸デジタル音声入力端子を接続します。テレビに DVD/ ブルーレイディスクプレーヤーやセットトップボックスなどの機器をつないでお使いの場合は、それらの音声も DHT-T100 で楽しめます。



### ③ アナログ音声入力（優先度：低）

お使いのテレビにデジタル音声出力端子がない場合は、付属の 3.5mm ステレオミニプラグケーブルを使って、テレビのアナログ音声出力端子に接続します。テレビの端子がピンプラグ(右音声は赤、左音声は白か黒のプラグ)のときは、付属のピンプラグ / ミニプラグ変換アダプタをお使いください。テレビに音声出力端子がないときは、テレビのヘッドホン端子に付属の 3.5mm ステレオミニプラグケーブルを接続してください。

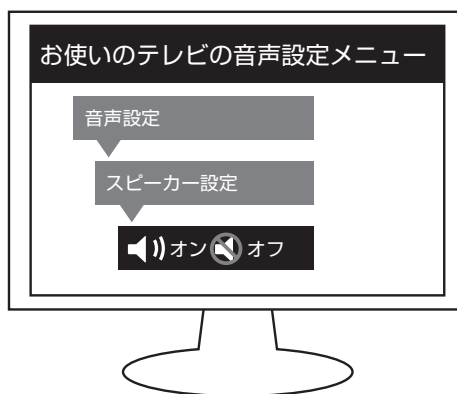


**重要なお知らせ：**テレビから DHT-T100 への入力レベルについて(アナログ入力の場合のみ)

背面の入力レベル切り替えスイッチのお買い上げ時の設定は「0dB」です。まれにテレビのアナログ音声出力が大きすぎるときに、DHT-T100 の再生音がひずんだり再生音が割れたようになっていたりすることがあります。そのようなときは入力レベル切り替えスイッチを切り替えて調節してください。

### テレビのスピーカーはオフにしてください

DHT-T100 をお使いの場合は、テレビの内蔵スピーカーをオフに設定してください。ほとんどのテレビではテレビのスピーカー出力のオンとオフを設定メニューで設定できます。「音」または「音声」のサブメニューから、「スピーカーオフ」「スピーカーを切る」などの項目を選んでください。テレビによっては、設定メニューの代わりに、背面に同じような名前のスイッチがついている場合があります。テレビにスピーカーをオフにする設定がない場合は、テレビの音量を 0 まで下げるか、テレビの消音機能を使ってください。

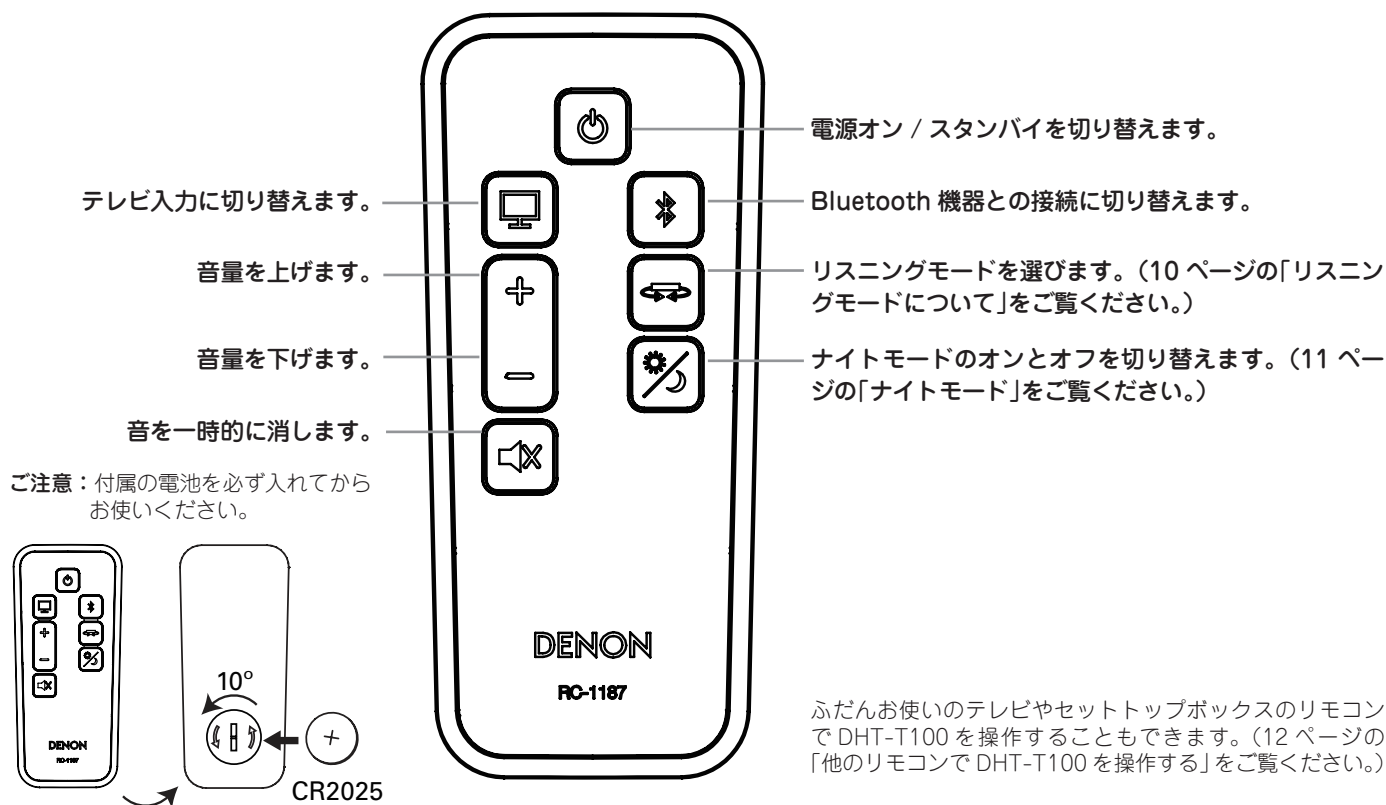


本機とテレビの両方から音を出す使いかたは避けてください。  
音量も「音質」も向上することはありません。



## DHT-T100 のリモコンボタンのはたらき

各ボタンのはたらきは本体と同じです。(6 ページの「本体操作部」をご覧ください。)



### ⚠ 警告

#### 電池は子どもの手の届かない所に保管する

リモコンには子どもが飲み込む可能性のあるコイン / ボタン型電池が含まれています。コイン / ボタン型電池は子どもの手が届かない所に保管してください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

### ご注意：

- ・ リモコンにはリチウム電池をお使いください。
- ・ リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい電池と交換してください。(付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。)
- ・ 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - ・ 電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
  - ・ 電池を直射日光のあたるところや暖房器具の近くなど高温になるところに置かないでください。
  - ・ 万一、電池の液漏れがおこったときは、電池収納部内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- ・ リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
- ・ 不要になった電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例に従って処理をしてください。







## DHT-T100 の自動電源動作機能

DHT-T100 が電源スタンバイ状態のときに、接続端子のいずれかに音声信号が入力されると自動的に電源がオンになります。つまり、DHT-T100 に接続しているテレビの電源を入れるだけで DHT-T100 の電源が自動的にオンになります。(ただし、Bluetooth 再生の場合は、リモコンか本体のボタンで DHT-T100 の電源を入れる必要があります)。DHT-T100 は省電力仕様のため、電源スタンバイ状態から電源がオンになるまでに 5～7 秒程度かかります。電源は本体またはリモコンのテレビボタン、あるいは Bluetooth ボタンを押してもオンになります。電源をスタンバイにするには、電源がオンのときに電源ボタンを押します。また DHT-T100 は、テレビの電源がオフになるなど DHT-T100 への音声入力がなくなってから約 5 分が経過すると、自動的に電源スタンバイ状態になります。

この自動電源動作を解除したいときは、お買い上げ時の設定は自動電源動作機能はオンです。この機能をオフに切り替えるには、本体の電源ボタンを約 3 秒間長押ししてください。電源ボタンの LED が 3 秒間点滅し、続いて 3 秒間の点灯状態に変わり、その後消灯します。同じ操作を繰り返すことで、自動電源動作の機能のオンとオフの切り替えができます。自動電源動作機能をオフにしたときは、DHT-T100 の電源のオンとオフは、電源ボタンを押しておこなってください。

## DHT-T100 の操作ボタンの LED 表示について

本体のボタンにはそれぞれに LED がついていて、点灯や点滅のパターンを変えてさまざまな機能を表示します。

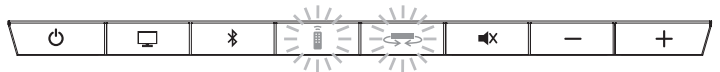
-  **電源ボタン**：電源をオンにしたとき、または音声入力を検出して自動的にオンになったときに、一瞬明るく点灯します。動作中は明るさを下げて点灯を続けます。スタンバイ時には消灯します。自動電源動作機能のオンとオフを切り替えるときは点滅します。
-  **テレビボタン**：テレビ入力に切り替えたとき、またはテレビの音声入力を検出して自動的にオンになったときに、一瞬明るく点灯します。
-  **Bluetooth ボタン**：ワイヤレス機器とのペアリング中に、明るく速く点滅します。ペアリングが完了すると点灯に変わります。接続の再試行中はゆっくり点滅します。
-  **リモコン学習ボタン**：DHT-T100 に他のリモコンの学習設定をしているときに点滅します。(12 ページの「他のリモコンで DHT-T100 を操作する」をご覧ください。)
-  **リスニングモードボタン**：本体のボタンを押したときに 1 回点滅して、次のリスニングモードに切り替わります。(下記の「リスニングモードについて」をご覧ください。)
-  **消音ボタン**：消音中に明るく点滅します。

## リスニングモードについて

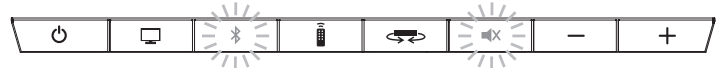
DHT-T100 では番組の種類や部屋の音の響き具合、好みなどに応じて 5 通りのリスニングモードが選べます。リスニングモードの他に小さな音量でも聞きやすい「ナイトモード」も設定できます。これについては「ナイトモード」の項目で説明します。

リスニングモードは本体またはリモコンのリスニングモードボタンで選んでください。押すたびに、**ボイス、ミュージック、ミュージックワイド、ムービー、ムービーワイド**の順に切り替わります。切り替えたリスニングモードは本体のボタンの LED の表示パターンで表します。それぞれのリスニングモードの効果と LED の表示パターンは次のとおりです。

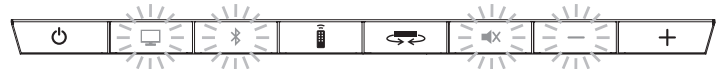
**ボイス**：映画のセリフやテレビのアナウンス、ミュージカルのソロなど、センター位置の音を強調します。ふだんのテレビの視聴に適しています。中央の 2 つのボタンが点灯します。



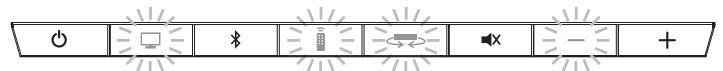
**ミュージック**：一般的なステレオサウンドです。選択中は Bluetooth ボタンと消音ボタンが点灯します。



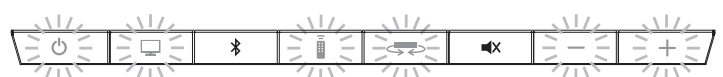
**ミュージックワイド**：コンサートホールのような空間的な臨場感が加わります。右図の 4 つのボタンが点灯します。



**ムービー**：あたかもサラウンドシステムのような、まわりや背後への音の広がりを楽しめます。右図の 4 つのボタンが点灯します。



**ムービーワイド**：リスニングモードの中で最もエフェクト効果が大きく、アクション映画やシーンの雄大さを楽しみたいコンテンツにおすすめします。合計 6 つのボタンが点灯します。



**お知らせ**：広い部屋や音が響きやすい部屋の場合、ミュージックワイドモードやムービーワイドモードでは、背景音や反響音によって音がぼやけたり会話が聞き取りにくくなったりすることがあります。このような場合は、ワイドでないモード(ミュージックモードまたはムービーモード)に切り替えてください。

## バイリンガルモード



入力しているデジタル音声が入音のときに、出力する音声を切り替えます。

二重音声を入力しているときに本体またはリモコンの消音ボタンを3秒以上長押しすると、次の順序で設定が切り替わります。

主音声 → 副音声 → 主音声 + 副音声

## ナイトモード

大きな音はおさえ気味に、弱めの音を少し強調することで、全体の音量を絞っても聞き取りやすくするモードです。お好みでお使いになれますが、ダイナミックな音声を楽しみたい番組や映画、音楽のときは、ナイトモードを解除してください。

ナイトモードにするには、リモコンのデイ / ナイトボタン  を押すか、本体のリスニングモードボタン  を3秒間長押ししてください。ナイトモードに設定すると、現在選択中のリスニングモードを示すLEDパターンが、明るさをおさえて点灯します。ナイトモードを解除するには、設定するときと同じ操作をします。ナイトモードを解除すると、LEDパターンが通常の明るさに戻って現在のリスニングモードを表示します。

## 音量の表示

DHT-T100ではリモコンや本体の音量ボタンで音量を調節すると、本体ボタンのLEDが左から順に1個から最大8個の間で一時的にバー状に点灯して、音量レベルを表示します。

## Bluetooth機能を使う

お使いの携帯電話やタブレット端末、パソコンなどのBluetooth対応機器からDHT-T100にワイヤレス転送して音楽などを再生することができます。

### Bluetooth機器との接続設定(ペアリング)をおこなう

DHT-T100でBluetooth再生をするには、はじめにお使いのBluetooth対応機器とDHT-T100をペアリングします。初回のペアリングの方法は次のとおりです。

- 1 Bluetoothボタン(本体またはリモコン)を3秒間以上長押しします。BluetoothボタンのLEDが速く点滅します。
- 2 お使いのBluetooth機器で、Bluetoothの設定画面を表示させ、Bluetooth機能を「有効」に設定してください。
- 3 お使いのBluetooth機器で、接続できるBluetooth機器の一覧表示から「DHT-T100」を選びます。ペアリングが終了するとBluetoothボタンのLED表示が点灯に変わります。
- 4 お使いのBluetooth機器で、音楽を再生します。DHT-T100から音声を出力します。

DHT-T100は複数のBluetooth対応機器との間でペアリングができます。ただし、再生できるのは先に受信した1つの機器のみです。他の機器を聴くには、再生中の機器との通信を終了する必要があります。

## 他のリモコンで DHT-T100 を操作する

DHT-T100 は簡単な設定によって、他の機器の赤外線リモコンから DHT-T100 を操作できるようになります。使いたい操作をいくつか限定して、他の機器との間で誤作動や混同が生じないようにする使い方も可能です。たとえば、音量の調節と消音だけを他のリモコンでできるように設定して、それ以外の操作は DHT-T100 の本体やリモコンでおこなうことができます。

**リモコンを学習する**(テレビのリモコンの音量アップボタンで DHT-T100 の音量アップを操作する設定を例に説明します。)

- 1 本体のリモコン学習ボタンを 3 秒間長押しします。ボタンの LED がゆっくり点滅します。
- 2 本体の音量アップボタン(学習させたいボタン)を押します。音量アップボタンもリモコン学習ボタンと同様に、LED がゆっくり点滅します。
- 3 LED が点滅を開始してから 60 秒以内に、DHT-T100 から 50cm 以内の距離で、テレビのリモコンを DHT-T100 に向け、音量アップボタンを 4 回続けて押します。点滅していた 2 つの LED は、3 秒間の点灯に変わり、設定が完了したことを示します。(お使いのリモコンによっては、ボタンを押す回数が 4 回未満でも設定できる場合があります。)

残りの 6 つのボタン(リモコン学習ボタン以外)に対しても設定ができます。お好みに応じて、DHT-T100 の(各ボタンそれぞれに相当する)機能を、上記の 3 手順で設定してお使いください。

**設定を取り消すには**

- 1 本体のリモコン学習設定ボタンを 3 秒間長押しします。ボタンの LED がゆっくり点滅します。
- 2 設定を解除したい本体のボタンを押します。押したボタンの LED が、リモコン学習設定ボタンと一緒に、ゆっくり点滅します。
- 3 リモコン学習設定ボタンを押します。ゆっくり点滅していた 2 つのボタンの LED は、3 秒間の速い点滅に変わります。設定が解除されたことを示します。

**お知らせ**：2 つの LED が速く点滅した場合は、学習設定に失敗したことを示します。手順の最初からやり直してください。「故障かな?と思ったら」の章に、設定のヒントが記載されていますのでご覧ください。

DHT-T100 をふだんお使いのリモコンで操作できるように設定して DHT-T100 に付属のリモコンを使わない場合は、リモコン内の電池は必ず取り出して、紙や絶縁テープなど放電を防げるもので包み、リモコン本体と一緒にどこか安全な場所に保管してください。

## 故障かな?と思ったら

**DHT-T100 の電源がオンにならない**

- ・ 電源コンセントは正常に通電していますか? 電気スタンドなど他の電気器具で確認してみてください。

**テレビの音が出ない**

- ・ DHT-T100 の音量を上げてみてください。
- ・ DHT-T100 を消音にしていませんか? (その場合、本体の消音ボタンの LED が点滅しています。)
- ・ DHT-T100 への入力を選択は正しいですか? Bluetooth ボタンの LED が点滅している間は、Bluetooth ペアリングの通信中です。テレビ入力ボタンを押して通信を終了することで、テレビの音声に切り替わります。
- ・ テレビやセットトップボックスに、出力信号レベルを調節する機能がついていませんか? その場合、テレビやセットトップボックス側で音量を調節し、DHT-T100 に対して十分なレベルの音声を送られるようにしてください。(テレビの出力レベルは、こうした事情からなるべく固定のものをおすすめします。出力レベルの設定は、テレビによってスイッチ式のものとメニュー画面を使うものなどがあります。)
- ・ 接続を確認してください。DHT-T100 は複数の入力信号が同時に入力された場合は、光デジタル、同軸デジタル、アナログ入力の優先順位で自動的に入力を選びます。テレビ側の音声出力を正しく設定してください。ほとんどのテレビでは設定メニューで設定できるようになっています。
- ・ 出力信号のフォーマットを確認してください。対応するフォーマットはドルビーデジタル(5.1ch)、AAC(5.1ch)または PCM 2ch(96kHz 以下)です。
- ・ テレビの光デジタル音声出力が有効か確認してください。

**DHT-T100 の音がひずむ**

- ・ テレビやセットトップボックスに音量調節機能がある場合は、最大音量から数段階下げてください。
- ・ アナログステレオ入力をお使いの場合は、背面の入力レベル切り替えスイッチの設定を調節してください(8 ページ参照)。
- ・ 元の音自体がひずんでいないか音源側で確かめてください。
- ・ DHT-T100 の音量調節が最大になっていたら、数段階下げてください。

## DHT-T100のリモコン学習設定ができない

- まずお使いのリモコンに問題がないか、電池残量やリモコンの向きなどを確認してください。
- お使いのリモコンと DHT-T100 に直射日光や強い照明があたらないようにしてください(光が強すぎると赤外線通信に支障が生じます。)
- お使いのリモコンの赤外線送信部を確認して、DHT-T100 から 0.3～0.5m の距離で、本体の中央に対してまっすぐ水平に向けて操作してください。
- ボタン操作はゆっくり確実におこなってください。ひと押しに 0.5 秒程度、続けて押すときは間隔を 1 秒程度おいて押してください。
- DHT-T100 はほとんどの赤外線リモコンの操作に対応していますが、一部できない操作もあります。

## テレビのスピーカーから毎回音が出てしまう

- テレビのスピーカーの出力設定を、テレビの設定メニューまたはテレビの背面のスイッチでオフ(切)に設定してください。これができないときは、長押し(連続増減)の音量操作にテレビが DHT-T100 より先に反応することが原因です。こうしたケースはまれですが、その場合は DHT-T100 の本体または付属のリモコンで音量調節をしてください。

## Bluetooth のペアリングができない

- DHT-T100 がペアリングモードになっているかを確認してください。(ペアリング設定中は Bluetooth ボタンの LED が速く点滅します。)
- お使いのモバイル機器がペアリングの設定モードになっているかを確認してください。(機器の説明書を参照してください。)
- モバイル機器が A2DP 対応機器が確認してください。一部の Bluetooth 機器(タブレット端末や一部の GPS 機器など)でキーボードやヘッドホンを併用して Bluetooth 対応している場合、高音質の音楽再生に対応できないことがあります。)
- ペアリング中は DHT-T100 との距離が 3 メートルを超えないようにしてください。
- Bluetooth 機器の電源をいったんオフにしてから再度オンにして、ペアリングをやり直してください。

## Bluetooth の接続に関するトラブル

- Bluetooth 機能でエラーが起こると(通信圏外、バッテリー切れや入力操作による再生停止など)、DHT-T100 の Bluetooth ボタンの LED が速く点滅します。このとき DHT-T100 では再接続を自動的に開始し、Bluetooth 機器が通信圏内に戻れば再生を再開します。機器によっては Bluetooth 機器の再生ボタンを押し直す必要があるものもあります。Bluetooth の有効通信範囲はお使いの機器によって異なりますが、一般的には 12 メートル以内です。この範囲を超えると、DHT-T100 は 4 回まで自動的に再接続を試みますが、それでも接続できないときは、あらためてペアリング操作をおこなってください。
- Bluetooth 機器の設定で、ペアリングする対象の機器を間違えていないか確認してください。
- お使いになる Bluetooth 機器が再生中であり、DHT-T100 とペアリングされていることを確認してください。
- タブレット端末や携帯電話のような多機能を搭載した機器では、一部のプログラムやアプリで Bluetooth の音楽再生ができない場合があります。(くわしくはプログラムやアプリの説明をご覧ください。)
- Wi-Fi ルーターや電子レンジ、固定電話のコードレス子機など 2.4GHz 帯を使用する製品が電波干渉していることも考えられます。疑わしいものの電源を 1 つずつ切ってみて原因を特定してください。置き場所を別の部屋か部屋の反対側に変えれば、つながるようになることもあります。

## DHT-T100 の電源の立ち上がりが遅い

- DHT-T100 は省電力設計のため、音声の入力がなくなると 5 分後にスタンバイモードになり、再生を再開するときには 5～7 秒程度かかります。

## 設定をお買い上げ時の状態に戻すには

- 1 電源プラグをコンセントから抜きます。
  - 2 音量ダウン(－)ボタンを長押しします。
  - 3 音量ダウン(－)ボタンを押しながら、電源プラグを元通りコンセントに差し込みます。
  - 4 電源ボタンが数秒間速く点滅し、初期化できたことを示します。
- Bluetooth のペアリング設定とリモコンの学習設定は消去され、リスニングモードの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。



## 保証と修理について

### ■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間はご購入日から1年間です。

### ■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

**ご注意：**保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

### ■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

有料修理の料金については、「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

### ■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

### ■ 修理を依頼される時

#### 修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

#### 修理を依頼される時

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 持ち込み修理対象製品の出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼される時のために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

### ■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名 …… 取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号 … 保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

### ■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

## 登録商標について

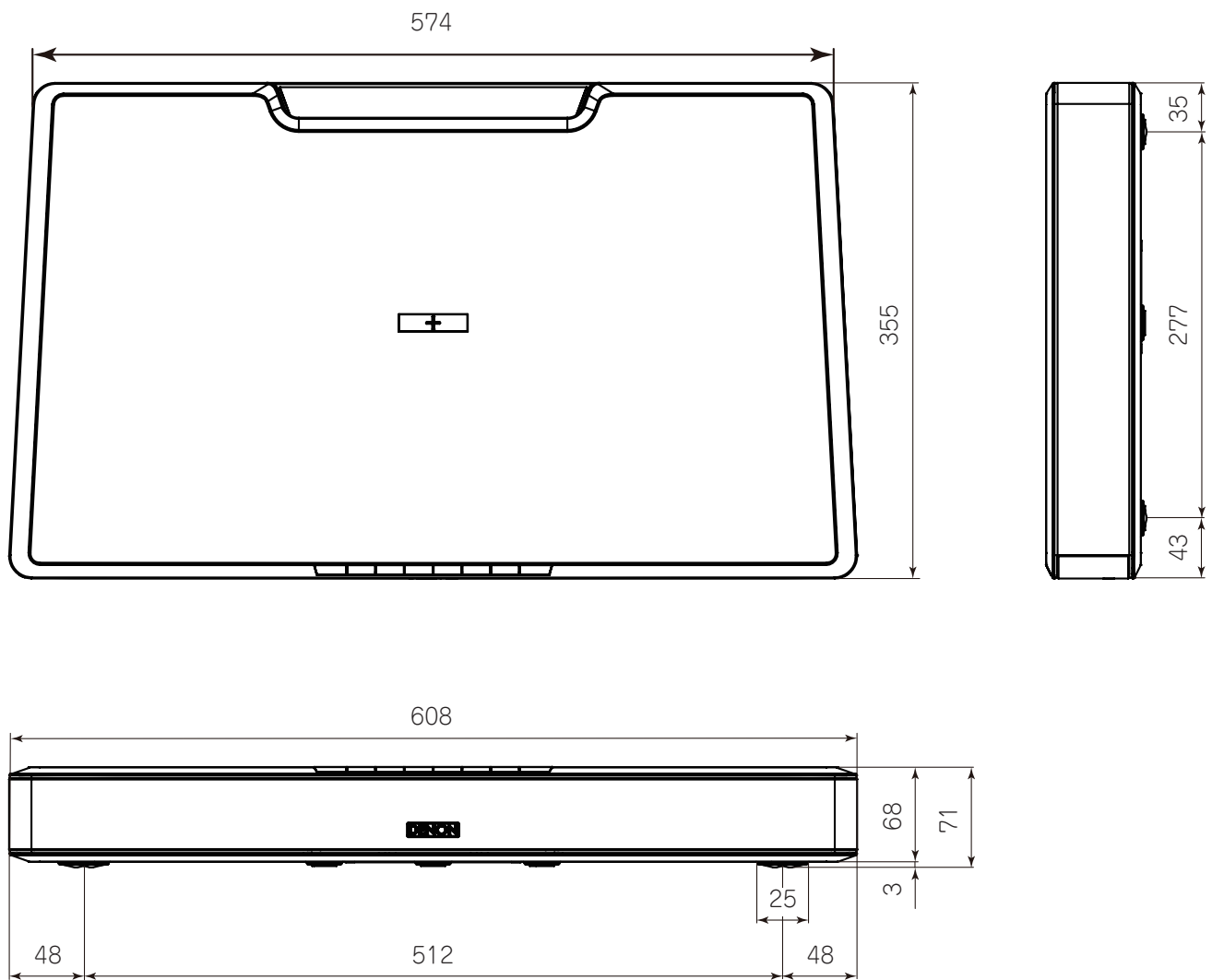
本製品は次の技術を採用しています(順不同)。


Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、株式会社ディーアンドエムホールディングスは、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

CSRロゴはCSR plcまたはそのグループ企業のトレードマークです。


ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

寸法 (単位: mm)



質量 : 4.3kg

# DENON

デノンお客様相談センター

☎ 0570 (666) 112

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

IP 電話をご利用の場合など、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。その場合は 03 (3570) 5138 におかけください。

受付時間 9:30 ~ 17:30  
(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)

〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。

<http://denon.jp/jp/support/pages/servicecenter.aspx>

後日のために記入しておいてください。

購入店名:	電話(	-	-	)
ご購入年月日:	年	月	日	

株式会社 デイアンドエムホールディングス